

## 関数電卓

## ボタンの説明

計算記号： $\times$ 、 $\div$ 、 $-$ 、 $+$ 括弧()： $($   $)$ 二乗( $x^2$ )、三乗( $x^3$ )： $x^2$   $x^3$  $n$ 乗( $x^n$ )： $\wedge$   $n$ ルート( $\sqrt{\quad}$ )： $\sqrt{\quad}$  ※ルート内の計算は必ず括弧でくくる三角関数(Sin、Cos、Tan)： $\sin$   $\cos$   $\tan$  $\pi$ の表示： $\text{SHIFT}$   $\text{EXP}$ 一つ前の文字を消す： $\text{DEL}$ 計算の答えを表示： $\text{EXE}$ 答えを計算式に組み込む： $\text{Ans}$ すべて消す： $\text{AC}$ 例)  $36 + 47$  を計算する →  $36$   $+$   $47$   $\text{EXE}$  $17 + 7 \times 4 - 5$  を計算する →  $17$   $+$   $7$   $\times$   $4$   $-$   $5$   $\text{EXE}$  $17 + 7 \times 4 - 5$  を計算し、結果を 5 倍する →  $17$   $+$   $7$   $\times$   $4$   $-$   $5$   $\text{EXE}$   $\text{Ans}$   $\times$   $5$   $\text{EXE}$ 

## モニターの説明

モニターに計算式や答えが表示される。

画面上に収まらなかった計算式の確認は、一番大きなボタンで右や左に動かせる。

答えが極端に大きい、または小さい時(100000 や 0.000001 など)は、答えがそのまま表示されずに、 $\times 10^n$  と表示される。下記の例で解説する。例)  $100000 \times 100000$  という式を計算すると、答えは 100000000000 になる。実際に計算してみると、 $100000$   $\times$   $100000$   $\text{EXE}$ 表示された答えは、**1**、その横に小さく  $\times 10$ 、右上に **12** となる。これは  $1 \times 10^{12}$  という意味で、**0** の数だけ  $10^n$  と表示される。

## 分数計算

分数での計算は複雑で、間違っただけの計算式を立てることが多い。計算で使う分数は括弧でくくると間違いにくい。

また、特に間違いやすいのは分母、分子の中で計算をする場合である。間違いを無くするためには、分母、分子内を常に括弧でくくるとよい。

例)  $\frac{1}{5} \div \frac{1}{4}$  を計算する →  $($   $1$   $\div$   $5$   $)$   $\div$   $($   $1$   $\div$   $4$   $)$   $\text{EXE}$  ※  $1 \div 5 \div 1 \div 4$  と間違いやすい $\frac{(5+7)}{(9 \times 2)} + (2 \times 3)$  を計算する →  $($   $($   $5$   $+$   $7$   $)$   $\div$   $($   $9$   $\times$   $2$   $)$   $)$   $+$   $($   $2$   $\times$   $3$   $)$   $\text{EXE}$

## 累乗、√の計算

$x$  の  $n$  乗を計算する場合、 $x \times x \times x \times x \times x \dots$  と計算するのは面倒、そこで、 $x^2$ 、 $x^3$  などを使う。

関数電卓にない累乗は  $\wedge$  を使う。また、ルート内の計算は間違いを起こしやすい。そこで、ルート内の計算は括弧でくくるとよい。

例)  $2^3 + 3^2$  の計算をする →  $2 \ x^3 \ + \ 3 \ x^2 \ \text{EXE}$

$2^5 + 3^6$  の計算をする →  $2 \ \wedge \ 5 \ + \ 3 \ \wedge \ 6 \ \text{EXE}$

$\sqrt{2} + \sqrt{3}$  の計算をする →  $\sqrt{\ } \ 2 \ + \ \sqrt{\ } \ 3 \ \text{EXE}$

$\sqrt{2+3} \times \sqrt{5+6}$  の計算をする →  $\sqrt{\ } \ ( \ 2 \ + \ 3 \ ) \ \times \ \sqrt{\ } \ ( \ 5 \ + \ 3 \ ) \ \text{EXE}$

## 三角関数

三角関数での計算は radian 表記、度表記で間違いやすい。また、Sin などの中で計算する場合は括弧でくくるとよい。

関数電卓では radian 表記、度表記を切り替えられる。

**MODE** を 4 回押すと下記のように表示される。

Deg	Rad	Gra
1	2	3

ここで 1 を押すと度表記、2 を押すと radian 表記になる。

度表記の場合はモニターの上部に **D** と、radian 表記の場合はモニターの上部に **R** と表示される。

また表記は計算式を書く途中にも変更可能

例)  $\sin 60^\circ$  を計算する → **MODE** を 4 回押す **1** を押して度表記に **sin 60 EXE**

$\sin \frac{1}{2} \pi$  を計算する → **MODE** を 4 回押す **2** を押して radian 表記に **sin ( SHIFT EXP ÷ 2 ) EXE**

$\sin 60^\circ + \sin \frac{1}{2} \pi$  を計算する → **MODE** を 4 回押す **1** を押して度表記に **sin 60 MODE** を 4 回押す **2** を押して

radian 表記に **sin ( SHIFT EXP ÷ 2 ) EXE**

## その他

※ 階乗、順列、組み合わせ：階乗 → **SHIFT**  $x^y$  順列 → **SHIFT**  $\times$  組み合わせ → **SHIFT**  $\div$

※ 累乗根：**SHIFT**  $\wedge$

※ 10 の  $n$  乗：**SHIFT** **log**

※ 対数：**log**

※ 指数：**SHIFT** **ln**

※ 逆三角関数： $\sin^{-1}$  → **SHIFT** **sin**  $\cos^{-1}$  → **SHIFT** **cos**  $\tan^{-1}$  → **SHIFT** **tan**

※ ストック：得られた答えをストックできる。

答えが表示されている状態で **SHIFT** **RCL** **(-)** と押すと A に答えをストックできる。

A を使う時には **ALPHA** **(-)** と押せば A を式に組み込める。

使えるアルファベットは A、B、C、D、X、Y、M

例) A に 5 を、D に 6 をストックさせ A+D を計算する

**5 EXE SHIFT (-) 6 EXE SHIFT sin ALPHA (-) + ALPHA sin EXE**